

会見小だより

令和7年7月10日

第4号

夢や目標に向かって 仲間と共に努力する 会見の子

南部町立会見小学校



自分で考えて行動する力

校長 生田 久枝

平年より3週間早く梅雨が明け、毎日猛暑が続いています。子どもたちは朝から汗だくで登校し、学期末のテストや学習にがんばっています。1学期も残りわずかとなりましたが、熱中症対策を講じながら、教育活動を止めないようにしたいと思っています。

さて、先日夕方、学校に1本の電話がありました。宮前にお住いの女性の方からでした。内容は、「買い物帰りに、重たい荷物を持って歩いていたら、下校中の2年生児童が、家まで荷物を運んでくれた。涙が出るほどうれしかった。」というものでした。

誰もが頭では、人にやさしく親切にすることは大切だと思っていますが、実際に行動することは簡単ではありません。たくさんの知識や経験がないと行動にはつながりません。自分にできることを考えて行動する力、すばらしいと思いました。

話は変わりますが、南部町は、平成18年に高知県の^{さかわ}佐川町と防災協定を結んでいます。この協定は、いずれかの地域において、災害が発生した際に助け合うというものです。高知県は、南海トラフ地震が起こる可能性がある地域です。会見地区も雨が降れば土砂災害の危険がある地域であり、平成12年には、西部地震により大きな被害を受けました。

いざというときに助け合うためには、佐川町と南部町が仲良くなっておかななくてはなりません。そこで、仲良くなるための一つの取組として、昨年度から、佐川町立^{とがの}斗賀野小学校と会見小学校の5年生同士が交流を始めました。6月26日(木)には、今年度第1回目の交流があり、5年生がオンラインでお互いの町や学校のことを紹介し合いました。また、7月11日(金)には、昨年度に引き続き6年生が交流を行います。このつながりをぜひ大切にしていきたいと思います。

能登半島地震から1年半が経ち、現在は鹿児島県トカラ列島で地震が頻発しています。6月の終わりには、南部町でも震度3の地震がありました。そんな中、先週末は子どもたちの間で、「7月5日に日本で大災害が起きる。」という予言が話題になっていました。私が子どもの頃にも「日本沈没」「ノストラダムスの大予言」など、日本や世界が滅亡するといった予言がありました。今やSNS等であることないこと、様々な情報が拡散される時代です。大人も子どもも情報をうのみにせず、自分で考えて行動する力を養っていききたいものです。

避難訓練(火災)

6月13日(金)

火災の避難訓練を行いました。今年度も町防災アドバイザーの細田さんに避難の様子を見ていただきました。全校児童が、「おはしもて(おさない・走らない・しゃべらない・もどらない・低学年優先)」を合言葉に落ち着いてグラウンドに避難することができました。訓練終了後、細田さんから、避難経路のマークについてのお話を聞きました。米子市の商業施設内を例に挙げられ、その中にも掲示してあるので普段から意識してほしいことや自分の身は自分で守ること等の話をされました。

現在、トカラ列島近海では、地震が多発しており、西部地震のように自然災害はいつ起こるか分かりません。災害が起きた時にはどうするか、またご家庭でも話してみてください。

ラジオ体操コンクール練習

全校児童に「全国小学校ラジオ体操コンクール」への参加を呼びかけたところ、多数の児童の参加がありました。地域在住で、1級ラジオ体操指導士の小林登さんに指導してもらいながら練習を2回行いました。本番は、15日(火)低学年、16日(水)中・高学年がビデオ撮影を行う予定です。朝から体育館も暑いですが、参加してくれた児童はがんばって練習に取り組んでいます。



【残りの1学期も元気に過ごしましょう。】

今年は梅雨明けが早く、すでに猛暑の気配となっています。1学期も残りわずかとなりました。残りの日を元気に過ごして終業式を迎えられたらと思います。ご家庭でも気をつけておられると思いますが、早寝、早起き、朝ご飯をよろしくお願いします。また、学校もエアコンや扇風機で室温を調整していますが、多めのお茶の準備もよろしくお願いします。

お知らせします。

平成19年の学習発表会で上演されたオペレッタ「赤猪岩物語」が会見小ホームページにYou Tubeで公開されています。会見小学校が県内初のコミュニティ・スクールに指定された翌年の学習発表会の様子です。地域・学校・保護者が一体となって作り上げた壮大なオペレッタ。当時のみなさんの熱い想いが伝わってきます。

動画は、会見小ホームページの「コミュニティ・スクール」の最下部、および「会小Now!」のサイドバーにあります。ぜひご覧ください。